

意見整理台帳（パブリックコメント、議会等からの意見）

○ 意見募集期間 令和2年6月23日から令和2年7月22日まで（市議会は、7月29日まで）

○ 提出された意見の概要
・意見項目数 11件

○ 意見の反映状況

反映区分	件数
A 計画に反映させたもの	0
B 意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	0
C 今後の取組において参考にするもの	6
D 計画に反映できないもの	1
E その他(感想・質問)	4
計	11

秦野市・伊勢原市消防指令業務共同運用基本構想（案）

意見整理番号	意見の趣旨	反映区分	市の考え方等
1	一市民から見ると、共同運用を行う上で規模が大きくなり安心できる一方、細かな部分まで目が行き届かないという不安もあると思うので市民等への説明をしっかりと行い進めてほしい。	C	今後の取組について参考とさせていただきます。 なお、人員の配置については、現在、夜間の通信勤務は、当直隊からの助勤を受け行っているところですが、指令業務共同運用が開始された場合には、職員の専従化により、これらの問題点も解消されます。
2	共同運用により事務が合理的になることは良いことだが、人員の配置方法に注意してほしい。	C	
3	共同で整備することによって、財政面でメリットがあることを明確に情報発信するようにしてほしい。	C	
4	共同運用を行っていくうえで議会や市民への説明を行うに当たり、注目となる部分は、市民サービスの向上や行財政上の効果、また、運営方法について、なぜ協議会方式を選択したかという事をしっかりと説明してほしい。	C	今後の取組について参考とさせていただきます。
5	消防指令センターの共同運用を機に、広域行政での合理化を一層促進する必要がある。そのためには、まず高額な消防車両（はしご車等）の共有化も検討してほしい。	C	今後の取組について参考とさせていただきます。
6	新東名高速道路における消防活動などについても共同して対応する検討を盛り込んでほしい。	D	新東名高速道路対応を本基本構想に盛り込むことは困難ですが、活動部隊の規程等に定めることとしています。
7	消防指令業務共同運用については、財政面のメリットよりも市民サービスの向上面を前面にアピールして説明してほしい。	C	今後の取組について参考とさせていただきます。
8	指令業務は、個人情報の取扱いが増えるので、万全なセキュリティ対策をどのようにするのか、具体的に示してほしい。	E	共同消防指令センターへ勤務する職員のコンプライアンスはもとより、共同消防指令センターでは、電子ロック等で入退出管理を行い、共同消防指令センターへ勤務する職員のみ入室に制限するなどの厳重な管理を計画しています。

9	<p>共同消防指令センターの配置人員について、消防指令センターを1か所に統合することで指令員を効果的配し、消防指令業務を兼任していた現場要員を専任化させ、消防力の強化を図りますとある。</p> <p>現状、配置人員は25人、共同後配置は22人とあり、3名が減となるが、現在、業務は2交代制であり将来にわたって持続可能な消防体制を整備確立していく立場より、職員の労働負担を解消するために3交代制にすべきと考えるがどうか。</p>	E	<p>共同消防指令センターへ勤務する職員の22名のうち2名は、毎日勤務者とするを想定しています。</p> <p>隔日勤務者については、ご意見を参考とし、労務上及び円滑かつ効率的な勤務体制を確保する観点から、2交代制及び3交代制について、それぞれの利点等を十分に検討し決定していきます。</p>
10	<p>共同消防指令センター施設建設費約3億3千万円の内訳はどうか。</p>	E	<p>共同消防指令センター施設建設費用は、試算であります。その内訳は、基本・実施設計に伴う委託費約2千万円と施設建設に伴う工事費（解体工事含む）約3億1千万円の合計約3億3千万円です。</p>
11	<p>平成29年4月1日に各都道府県知事あてに出された「消防連携・協力の推進について」の通知書のP4、(ア)指令の共同運用には「指令の共同運用の実施に際しては、ゼロ隊運用や直近指令による自動応援を併せて行うことで、地域の消防体制の向上に一層資するものとなる。</p> <p>既に指令の共同運用を実施している消防本部も含め、自動応援等を活用した、より効果的・効率的な部隊運用について検討することが望ましい」とあるが今後、どのように検討するのか。</p>	E	<p>消防指令業務の共同運用は、指令業務のみを共同で運用するものであり、消防の管轄区域は、従来どおりそれぞれの区域となります。</p> <p>共同消防指令センターでは、両市の災害情報が一元化され監視できることとなりますので、両市間での応援の要請・了承の手続きを簡略化でき、より迅速な応援体制の確立が期待できます。</p> <p>また、部隊運用や応援協定等については、必要に応じて見直しを行い、より効果的・効率的な部隊運用に努めてまいります。</p>